

ニーチェ財団

フリードリヒ・ニーチェの故郷、ザクセン・アンハルト 州

フリードリヒ・ニーチェ(1844-1900)は、近代・現代の諸問題を赤裸々に文書に残した当時には稀な哲学者のひとりです。それ故に、彼の書物は今日においても多く刊行され、一般から専門家まで幅広く愛されています。

ニーチェは、ヨーロッパ主義・世界主義として自身を誇示していましたが、そのしっかりと癒合した思想の根本をドイツ中心部の文化に持っていたことから、一国家の統一、独立発展を強調するナショナリズムを嫌い、拒みました。この思想の根本を明白にすることが『フリードリヒ・ニーチェ基金-財団構想協会』の願いであり、目的なのです。

リョッケン／ナウンブルグ／シュールプフォルタ

ニーチェは、生まれてから6年をリョッケンで過ごし、その地に眠っています。ナウンブルグのシュールプフォルタに位置する国立学校に入学(1858-1864)。ここで深い人道主義の教育を受けます。そしてナウンブルグは、幼少・青年時代、休暇での滞在や知人を訪ねたり、また、1890年には体調を崩し、母による看病が7年間続くなど、ニーチェが最も長い間生活の拠点を置いた町でもありました。

財団は、ニーチェハウスナウンブルグ支部、ニーチェを偲ぶ他都市、リョッケン、プフォルタ国立学校などのニーチェ協会によるニーチェの生涯とその作品の展覧、活発な活動報告や集会など不変の共同作業を通して保持することを担い、将来、これらの努力の結束が財団の基盤となります。財団の所在地は、ナウンブルグ-ニーチェ資料文献センターに予定しています。

写真：病中のフリードリヒ・ニーチェと彼に寄り添う母(1892年)

ニーチェ資料文献センター

ニーチェについて書かれた書物は様々な観点から、しかもその多くが大ざっぱで統一性のない矛盾した内容です。その文献は無数であり今まであまり調査されていない研究対象となっています。しかし、そこから20世紀の文化を垣間見ることができるのです。

ナウンブルグ・ニーチェ資料文献センターは、ニーチェに関する全資料を理解、開発し改善の基礎達成となるでしょう。

この事業の基盤は、ナウンブルグ市が権利を得た“リヒャルト・F・クルンメル博物館“が、哲学者フリードリヒ・ニーチェの文献を納めた20世紀最大の私立博物館になるであろうというところにあります。

ドイツ語に関する文献に限らず、インターナショナルに富んだ文化的なもの、たとえばオーディオ、デジタルメディア、絵画、日常のものなど、書物以外の媒体も通して展示されます。

財団について

フリードリヒ・ニーチェ財団は、集められた寄付金からザクセン州アンハルトと各都市のニーチェ協会主催のイベントを成功させること、また各都市のニーチェ協会とのコミュニケーションに重要な立場にあります。以下は、財団の主な事業です。

- ・ ナウンブルグ-ニーチェ資料文献センター、ニーチェハウス、リョッケンの記念の地への融資と、管理維持費の援助。
- ・ ザクセン州アンハルトから授与されるフリードリヒ・ニーチェ賞のサポート
- ・ 情報ネットワークを組織し、その管理を通してセンターに納められているフリードリヒ・ニーチェの全書物の開拓
- ・ 学際的な会議、展覧会を主催
- ・ 教育、成人教育、教員養成のイベント開催
- ・ 出版促進
- ・ 科学・文明的な機関との共同制作
- ・ 都市、国内、国際レベルの芸術、科学の交流を達成

財団構想

協会の課題と目的

現在、計画されているフリードリヒ・ニーチェ基金およそ300万ユーロの資本金額を達成するために、地域的な基金活動範囲を国内、さらにインターナショナルに広げ、資金調達や人員徴募を必要とします。ニーチェ協会の財団構想は、この目的に基づかれ、その全容はナウムブルグ簡易裁判所に登記されています。

これに賛同、支持すると表明した行政、文化、経済、メディア、教育の各機関の公人、著名人たちが財団構想の会員に登録されています。

財団への出資を見込めるとされる人物・会社が審議会を通して選ばれ、その見解を求められます。

財団協議会に出席している地域の社団法人や立法機関、ニーチェ協会、及び公人、著名人が運営します。

審議会メンバー

- | | |
|--------------------|-----------------------------|
| ・ クルト・ベッカー | ザクセン-アンハルト州 法務大臣 |
| ・ ペーター・アンドレ・ブロッホ教授 | 財団協議会ニーチェハウス-シルスマリア支部 (スイス) |
| ・ ローター・エアリヒ教授 | ワイマールクラシック基金調査団統括 |
| ・ マティアス・ガブリエル | ビッターフェルド-ヴォルフエン化学団地支配人 |
| ・ フォルカー・ギアハード教授 | フンボルト大学(ベルリン) 哲学者 |
| ・ ヤン・ヘンドリック・オルバーツ | ザクセン-アンハルト州 文化大臣 |
| ・ パウル・ラーベ教授 | フランシュケン財団理事会理事長 |
| ・ ホースト・レーベルガー博士 | ザクセン-アンハルト州 経済大臣 |
| ・ デトレフ・レンチュ博士 | MDR FIGARO 編成局長 |

該当する箇所に印をつけてください。

- 財団構想についてもっと情報が欲しい
- フリードリヒ・ニーチェ財団に会員登録したい
- フリードリヒ・ニーチェ財団創設のサポート(499ユーロ以下の寄付金)
- 財団資産のサポート(500ユーロ以上の寄付金)

こちらの用紙を下記まで、氏名・住所・電話/FAX番号・E-mailアドレスを明記の上、FAXか郵送にてお知らせください。

Stiftungsinitiative Friedrich Nietzsche e.V.
Weingarten 18 in 06618 Naumburg. 宛
FAX: 03445-699 02 35

財団への寄与

フリードリヒ・ニーチェ基金の支援項目

1. 会員登録

会員皆様のご意見、ご提案、共同作業を通して協会の活動をバックアップしてください。財団構想の成功の軸は、できるだけ多くの人々の様々な志向による寄与、貢献と考えております。会費は年額30ユーロです。基金は下記の2種類に区別されます。

2. 499ユーロ以下の寄付金は、フリードリヒ・ニーチェ基金
財団創設のサポートとなります。財団創設まで協会の口座に供給され、蓄えられます。

お振込みの詳細

Stiftungsinitiative Friedrich-Nietzsche e.V.
(財団構想フリードリヒ・ニーチェ協会)
Stichwort: Nietzsche Stiftung
Bank(銀行): DKB Deutsche Kreditbank AG
BLZ(銀行コード番号): 120 300 00
Kto(口座番号): 89 15 23
IBAN: DE13 1203 0000 0000 8915 23 SWIFT(BLG):BYLADEM 1001

3. 財団資産の集積のために、フリードリヒ・ニーチェ基金
特別財団準備金が開設されます。500ユーロ以上の寄付金はこの特別口座に集められ、財団の資本となります。財団が存続し、活動維持の目的にのみ利用されます。これらの金額は財団創設後に租税法的に財団資産として供給されます。

お振込みの詳細

Stiftungsinitiative Friedrich-Nietzsche e.V.
(財団構想フリードリヒ・ニーチェ協会)
Fonds(口座名)Nietzsche Stiftung
Bank(銀行): DKB Deutsche Kreditbank AG
BLZ(銀行コード番号): 120 300 00
Kto(口座番号): 89 15 15
IBAN: DE15 1203 0000 0000 8915 15 SWIFT(BLG):BYLADEM 1001

お問い合わせ:

Stiftungsinitiative Friedrich-Nietzsche e.V.
(財団構想フリードリヒ・ニーチェ協会)
Weingarten 18, 06618 Naumburg
Tel.:03445-70 35 03, Fax:03445-699 02 35
E-mail: info@friedrich-nietzsche-stiftung.de
Homepage: www.friedrich-nietzsche-stiftung.de